

第5回 地域防災会議 9月24日 10:00～11:30

●参加者

柴崎区：2名

青山区：1名

南青山：1名

青山台：1名

柴崎台：3名

天北商店会：1名

我孫子第三小学校：1名

市民安全課：

市民活動支援課：1名

天王台北地区地域会議事務局：4名

●座長の挨拶

・本日、NEC我孫子事業部長さんに来て頂く予定でしたが、所用があり来られないとの事です。

●各自治会の防災に関する意見

・農家主体で防災意識が足りない（柴崎）（青山）

・防災会も人の入れ替わりが多く、何をやらないといけないのか良くわからない（南青山）

・天王台はサラリーマン世帯が多く、地元に残る商店会が何かしなきゃいけないと思っている（商店会）

・柴崎台は世帯の半分はマンションとアパートなので、防災意識は低い（柴崎台）

・小学校は今年防災倉庫を設け、水タンクと水備蓄もある。各自治会の防災用品のリストを整備中です（三小）

・今年は地震が多いので実地訓練が出来た。（三小）

- ・防災ツアー等を企画しても参加者が来ない（青山台）
- ・自治会で防災袋を配ろうと思ったが、案外高い。防災ラジオの方が良いかもしれない。（柴崎台）
- ・避難で家を出る時はブレーカーを落として出る様にしたい。玄関先に注意を促すシールを貼るのが良いのではないかと（座長）
- ・防災意識向上には地道な広報を続けるしかないと思う。（柴崎台）
- ・小学校を通じた防災広報は、自治会に入っていない世帯にも届くので効果的だと思う。（柴崎台）
- ・天王台にも備蓄倉庫を設置して欲しい（柴崎台）
- ・近隣センターに防災備蓄倉庫を増設してはどうか（事務局）
- ・自治会の防災倉庫に何を入れる？（柴崎台）
- ・発電機は定期的に動かしていないと使えない。（青山）
- ・ブルーシートは10枚以上は欲しい。（青山）

●川村学園での市主催の総合防災訓練について。

- ・各自治会で案内リーフを配布する。

●その他

- ・防災訓練は日常的に、体を動かして体験すべき。（事務局）
- ・自分が参加しているグループの活動の中で日常的に考えていくべきだ。（事務局）
- ・とっさに逃げる時に、やっぱり物を持って避難しようとする。（事務局）
- ・要援護者リストは自治会と市の協定を結んでから配布される。
- ・『ぼうさい』のデータを教頭に渡し、配布してもらう。

●第三小学校より

- ・今いる場所で身を守る事を大事に訓練している。

●次回

- ・11月はNEC総務の人をお呼びして、我孫子事業場の災害対応について聞く。
- ・欠席の場合は代理の人を)

・次回 10月22日 10:00～

・今後 12月は休み、その後は1月と3月に開催する。